

## 会 議 録

### 1 会議名

令和5年度 第3回津有区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 自主的審議事項（公開）

・津有区の特長を生かした地域活性化策について

○津有区パンフレットについて

### 3 開催日時

令和5年6月26日（月）午後7時30分から午後8時20分まで

### 4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木雄司、梅川康輝、大滝英夫、千代金治、相馬祐一、中島 功（副会長）、  
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席1名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

#### 【藤本会長】

- ・会議録の確認者：相馬委員

次第2議題「(1) 自主的審議事項」 「津有区の特長を生かした地域活性化策について

て」の「津有区パンフレットについて」に入る。事務局から説明を求める。

**【山崎主事】**

当初この時間は、各グループの報告をしていただく予定でしたが、本会議前に開催したパンフレット作成委員会で既に報告が済んでいるため、この時間では、報告を受けての意見や、そのほか全体についての意見等があれば伺いたい。

**【藤本会長】**

ただいまの説明について質問を求める。

(発言なし)

では、今回は各グループからの報告ではなく、具体的に話題を取り上げて協議していく。

前回の原案から今回はかなりバージョンアップした。まずABCの各グループから出た意見について協議し、最後に全体に共通する部分について協議するという手順でよいか。

(よしの声)

まず、小学校5・6年生が見てわかりやすいものにする、必要に応じてルビを振る。これはどのグループにも共通する事項だと思う。

Aグループの内容について質問等あるか。

**【梅川委員】**

「津有地区の年齢構成」のページに世帯数と人口を記載し、1995年と2020年のデータを比較するのはどうか。

**【小林所長】**

全体の世帯数と人口はすぐに記載できる。

**【梅川委員】**

南部地区と北部地区、それぞれのデータは出せるか。

**【小林所長】**

以前、南部地区と北部地区の境界線を入れてはどうかという話もあったが、世帯数と人口についても分けて記載する方がよいか。実用的で良いというのならそれで進めたいと思うが、この点は皆さんと協議したい。

**【藤本会長】**

南部地区と北部地区の区別について、両方の考えがあると思う。組織的に分かれて

いる部分があるから区分したほうがよいという考え方と、一つの津有区なのだから南や北にこだわらず全体で見たほうがよいという考え方がある。この件について、皆さんからそれぞれ意見を伺いたい。

**【千代委員】**

私は一つにまとめた方がよいと思う。なぜ北部と南部にこだわるのか知りたい。その辺が分かれば、この先の話の持って行き方が変わるかもしれないが、私は昔からここに住んでいるわけではないので分からない。地元で長く住んでいれば経緯を知っているかもしれないが、こういうパンフレットを作るなら一つにまとめた方がよいと思う。

**【相馬委員】**

私も分ける必要はないと思う。津有地区全体の地域協議会なので、津有全体で考えればよいと思う。

**【梅川委員】**

北部は四ヶ所もあり、稲田にも近いので街中のイメージがある。南部の人は津有南部という意識が強い。例えば人口はどちらが多いとか、単純に知りたかっただけである。

**【古川勝夫委員】**

津有区のパンフレットなので、そういうことにこだわらず全体を見た方がよいと思う。

**【中島副会長】**

非常に難しい問題だと思う。

**【大滝委員】**

北部と南部に分けると、パンフレットが複雑になり、簡単に理解できるパンフレットにならない。北部と南部を含めた津有全体のパンフレットとして進めていると思うので、世帯数と人口を記載するときに分けるのは可能だと思うが、そのほかのことに関しては現状の進め方でよいと思う。

**【古川仁委員】**

当初は地図にも北部と南部の線引きをするということだったが、それも記載されていないので、人口と世帯数だけでよいと思う。

**【青木委員】**

このパンフレットは津有区のパンフレットなので、人口や世帯数は津有区全体で出すのが当然だと思う。例えば、戸野目小学校と上雲寺小学校の150年史を作るのなら、それぞれの数字を記載すると思うが、これはあくまでも津有区のパンフレットなので、統計は一本でよいと思う。

#### 【藤本会長】

意見をまとめると、南部と北部には分けないということでよいか。

ただ、より深く知りたい方がいたときに、調べる方法は残しておく必要があると思う。歴史的なこと探っていくとますます複雑になるので、北部と南部に分けないことで進めたいと思う。

Aグループについて、ほかに何かあるか。

(意見なし)

Bグループについて、何かあるか。

(意見なし)

Cグループは、最後のページのレイアウトが変わり、小学校の歴史がもう少しクローズアップされるということであった。

#### 【中島副会長】

「近くで戦争が起こった！[川浦戦争]」という記述があるが、まさにこの地域が戦場であったということが分かったので、それを強調したほうがよいという話があった。

#### 【青木委員】

どちらが幕府でどちらが新政府軍かよく分からないので、明確に記載した方がよいと思う。

#### 【小林所長】

文字や表現は事務局で修正を加えたいと思っている。

Cグループではそのほかにも次のとおり指摘があった。

- ・絵の配置をロの字型ではなくコの字型に変更する。
- ・お母さんや津有に関わる絵を中心にしておかの絵を少し減らす。
- ・前島記念館にある石碑を写真入りで紹介する。
- ・歴史のページには小学校の歴史について記載し、前島密のページには前島と小学校の関わりについて記載する。
- ・中心に記載されている「縁の下の力持ちになることを厭うな」「人の為によかれと思

う心を常に持てよ」というメッセージは、あとがきとして記載する。

- ・メッセージの言葉がお子さんに馴染めないのではないか。

メッセージの言葉や記載について、皆さんから議論していただきたい。

#### 【藤本会長】

大前提として、前島密の功績を述べるのではなく、津有と前島密がどう関わっているのかという視点がポイントになる。前島密が津有の下池部で生まれ、その頃に彼の人となりを培うものがあったということを中心に記載するということだと思う。さらに、両小学校との関わりが非常に深いので、そのことも記載する。そうすると、例えば、「2つの小学校と歴史の共通点」を次ページに移し「津有の偉人たち」の紙面を広げることも可能だと思う。

#### 【小林所長】

「2つの小学校と歴史の共通点」のうち、両校が150周年を迎えたという学校自体の歴史については歴史のページに記載し、前島と小学校の関わりについては前島密のページに記載することにした。

#### 【藤本会長】

今の説明についてどうか。

(よしの声)

一番大事なのは、前島密の言葉をあとがきに載せるかどうかである。このことについて意見を求める。

#### 【青木委員】

この言葉は、前島密の座右の銘ではなく、ある部分を切り取り、それを解釈する人が広めた言葉で、内容自体も一つの思想・哲学・価値観である。公的な立場である地域協議会が出すパンフレットなので、特定の価値観を大きく取り上げて書くのは、私はまずいと思う。前島密の顕彰会などの立場で出すのならよいが、地域協議会が津有区のパンフレットで記載する以上、特定の価値感をクローズアップするのはおかしいと思う。だからこの部分については記載する必要はないと思う。

#### 【古川勝夫委員】

多分、子どもたちはこのままでは理解できないと思う。これを載せるのなら、違う文面で載せた方がよいと思う。

#### 【千代委員】

前島密の顕彰グループでこの言葉を使うのはよいと思うが、津有区のパンフレットとしては使わない方がよいと思う。その言葉をまた解説するとなると大変である。

**【古川仁委員】**

この文面に最初はあまり異議が無かったと思う。私としては載せてよいと思っている。その後に子どもでも分かりやすいよう、ただし書きをすればよい。

**【藤本会長】**

このことの問題点は、特定の価値感であるこの言葉を肯定的に捉えていることである。これを良いものだと言うことが問題だということ。だから、例えば「前島さんがこんなこと言っている」というだけで終わる分には問題ないと思う。しかし、この言葉が絶対的なものとして、こういう考え方でいなければいけないという教訓じみたような書き方をすると、価値観の押し付けになるという意見だと思う。

**【中島副会長】**

先ほども言っていたが、この言葉自体は、ある方が「思い出のままに」という文章の中で書いている言葉で、前島密自身の言葉ではない。記念館の館長にも確認が取れている。

いろいろな思い出の中に出てくる文章で、これを強調しすぎるのはいかがなものかと思う。ある方の話として記載するのは問題ないが、これで締めくくるのはどうかと思う。

**【藤本会長】**

今ここで議論しても結論は出ないので、事務局と正副会長で預かり、皆さんの考えを汲んで最善のものを提案できるよう、これから検討したいと思う。そういうことでよいか。

いずれにしても、メッセージの部分はあとがきに回すということで、Cグループから提案があったので、そういう方向性の中で、価値観の押し付けにならないような書き方を模索しながら、次回までに整理していきたいと思う。

次回の7月の段階で最終稿になるので、それまでに皆さんもう一度よく読んでいただき、意見があれば事務局にお伝えいただきたい。

それでは、この議論を終わりにしたいと思うがよいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」「津有区の特長を生かした地域活性化策に

ついて」の「津有区パンフレットについて」を終わる。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

- ・ 次回の日時：7月24日（月） 第4回パンフレット作成委員会：午後6時  
第4回地域協議会：午後7時半
- ・ 会場：津有地区公民館 大会議室

#### 【小林所長】

- ・ 開催案内の文書の送付が遅れる旨を説明

#### 【藤本会長】

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・ 会議の閉会を宣言

#### 9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。